

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

（ 宛 先 ） 京 都 府 知 事	元年 6月 19日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府枚方市伊加賀緑町2番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 恩地食品株式会社 代表取締役社長 恩地 宏英

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	恩地環境推進会議(恩地独自システム)
適 用 範 囲	京都工場設備全般
導 入 年 月 日	23年 10月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	私たちは生産活動のすべてにおいて「地球に優しい工場」を基本理念として、社員一同地球温暖化問題を重要視し、改善を努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①CO2排出量 2017年度を基準に原単位（生産数量ベース）で2022年度に総排出量は3%削減、廃棄物（植物性残渣量）1%削減、原単位2%削減を目指す。
目標を達成するための取組の内容	省エネ診断（関西電力協力）は4月に行いました。改善報告書より改善個所の実行とLED照明に変更（水銀灯撤去）後期終盤よりコージェネ設備設置（来期報告）し、ボイラー効率化と電力使用量削減を目指した。
目標を達成するための取組の進捗状況	微量ではあるが、改善個所の実施での今後の考課を期待する。また、電力については、LED変換と後期のコージェネにより多くの効果が出た。（前年比91%使用量）しかし、その反面ガスコージェネ設備かどうによるガス少量は増加する。来期以降のエネルギーのバランスに注目する。ボイラー効率は間違いなく効果が見られる。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	事業活動に伴うCO2排出量は微量に削減したが、コージェネ設備のガス量増加が大きく、来期以降の電力量削減効果が期待される。（今期は91%に）しかし、生産数量も微減しているため、大きな削減とは言えないが、LED、コージェネ設備の下準備施工が順調に進み、次年度に多くの期待が持て、評価に値する。（コージェネ設備資料は来期提出）
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について月一回は確認を行っている。これまで違反や行政当局からの指摘等はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年1回検討していきます。28年度はほぼ維持状態だったので、29年度以降も同一システムで推進しながら、重点目標クリアを目指す。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。